

愛称：マイパッケージ30 三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

マンスリーレポート

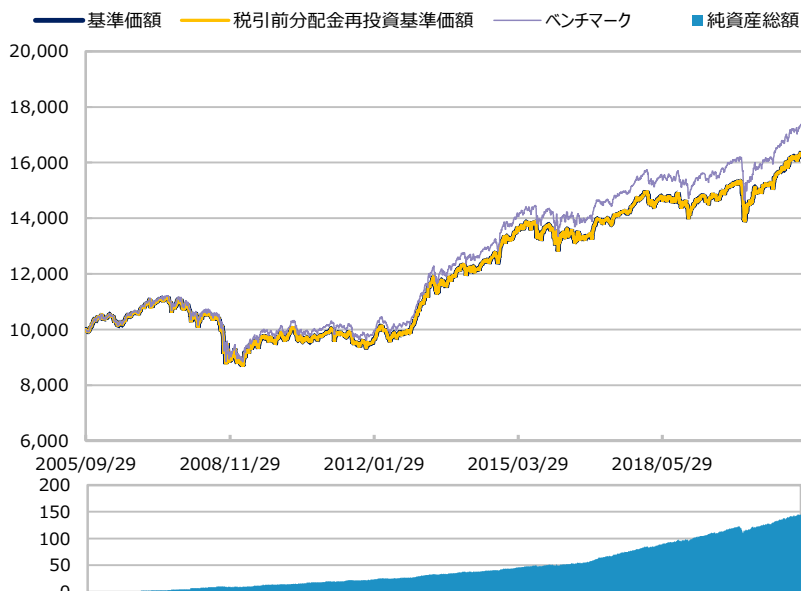
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

ファンド設定日：2005年09月30日

日経新聞掲載名：DCマ30

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、合成指数です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	16,327	+78
純資産総額（百万円）	14,504	+181

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1 カ月	2021/05/31	0.5	0.5
3 カ月	2021/03/31	1.0	1.1
6 カ月	2020/12/30	4.0	4.2
1 年	2020/06/30	9.5	9.9
3 年	2018/06/29	11.4	12.4
設定来	2005/09/30	63.3	73.4

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第12期	2017/02/20	0
第13期	2018/02/19	0
第14期	2019/02/18	0
第15期	2020/02/18	0
第16期	2021/02/18	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	基本配分	当月末	基本配分との差	前月比
株式計	30.0	30.0	-0.0	-0.1
国内株式マザー	20.0	19.9	-0.1	-0.1
外国株式マザー	10.0	10.1	+0.1	-0.1
債券計	65.0	65.2	+0.2	+0.2
国内債券マザー	55.0	55.2	+0.2	+0.3
外国債券マザー	10.0	10.0	+0.0	-0.0
現金等	5.0	4.8	-0.2	-0.1
合計	100.0	100.0	0.0	0.0

※ 各組入投資信託の正式名称は4枚目以降をご覧ください。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	+39
外国株式	+39
国内債券	+5
外国債券	+6
為替	-7
分配金	0
その他	-4
合計	+78

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

愛称：マイパッケージ50 三井住友・DC年金バランス50（標準型）

マンスリーレポート

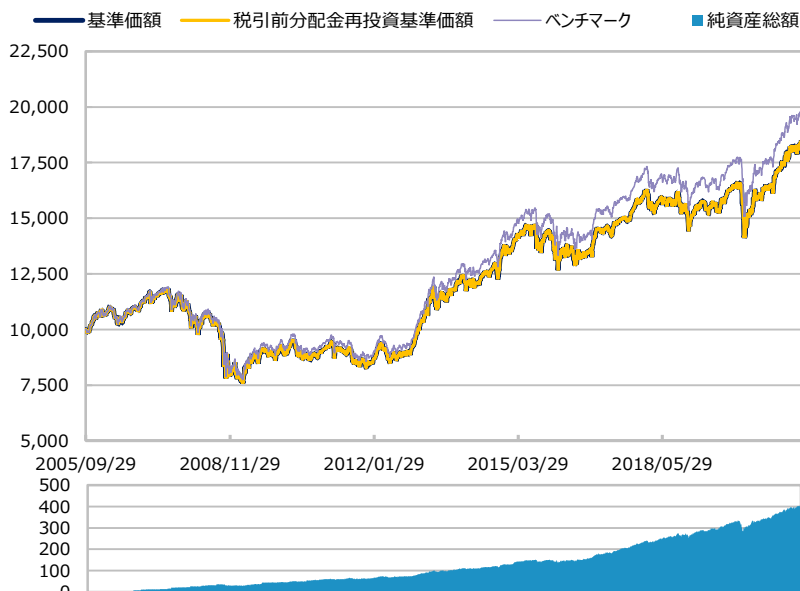
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

ファンド設定日：2005年09月30日

日経新聞掲載名：DCマ50

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、合成指数です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	18,393	+142
純資産総額（百万円）	40,466	+648

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1 ヵ月	2021/05/31	0.8	0.8
3 ヵ月	2021/03/31	1.4	1.5
6 ヵ月	2020/12/30	6.4	6.6
1 年	2020/06/30	15.7	16.2
3 年	2018/06/29	17.3	18.6
設定来	2005/09/30	83.9	97.9

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第12期	2017/02/20	0
第13期	2018/02/19	0
第14期	2019/02/18	0
第15期	2020/02/18	0
第16期	2021/02/18	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	基本配分	当月末	基本配分との差	前月比
株式計	50.0	50.0	+0.0	-0.1
国内株式マザー	35.0	34.9	-0.1	-0.1
外国株式マザー	15.0	15.1	+0.1	-0.0
債券計	45.0	45.2	+0.2	+0.2
国内債券マザー	35.0	35.2	+0.2	+0.3
外国債券マザー	10.0	10.0	+0.0	-0.0
現金等	5.0	4.8	-0.2	-0.1
合計	100.0	100.0	0.0	0.0

※ 各組入投資信託の正式名称は4枚目以降をご覧ください。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	+76
外国株式	+66
国内債券	+3
外国債券	+6
為替	-7
分配金	0
その他	-3
合計	+142

※ 基準価額の月間変動額を主要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

愛称：マイパッケージ70 三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

マンスリーレポート

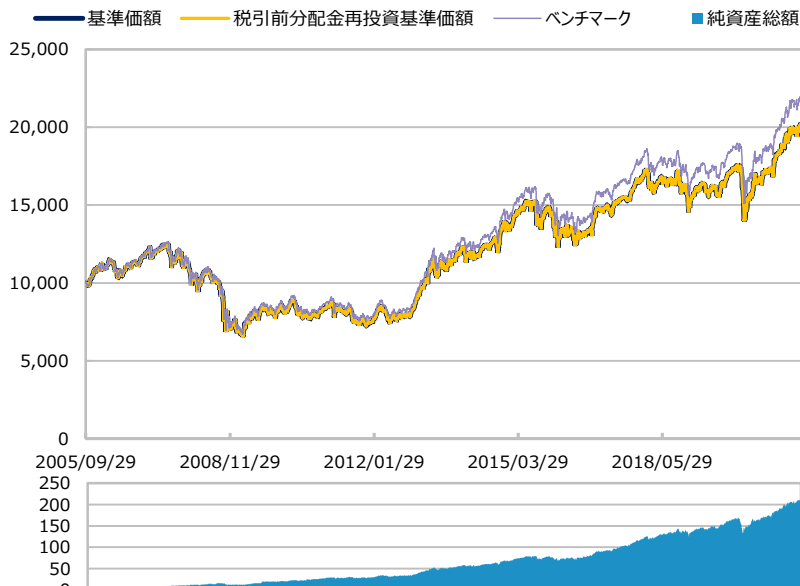
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

ファンド設定日：2005年09月30日

日経新聞掲載名：DCマ70

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、合成指数です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	20,164	+213
純資産総額（百万円）	21,185	+502

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1 カ月	2021/05/31	1.1	1.1
3 カ月	2021/03/31	1.7	1.8
6 カ月	2020/12/30	8.9	9.2
1 年	2020/06/30	22.3	22.8
3 年	2018/06/29	22.9	24.5
設定来	2005/09/30	101.6	119.6

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第12期	2017/02/20	0
第13期	2018/02/19	0
第14期	2019/02/18	0
第15期	2020/02/18	0
第16期	2021/02/18	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	基本配分	当月末	基本配分との差	前月比
株式計	70.0	70.0	+0.0	-0.1
国内株式マザー	50.0	49.9	-0.1	-0.0
外国株式マザー	20.0	20.1	+0.1	-0.0
債券計	25.0	25.1	+0.1	+0.1
国内債券マザー	15.0	15.1	+0.1	+0.1
外国債券マザー	10.0	10.0	+0.0	-0.0
現金等	5.0	4.8	-0.2	-0.1
合計	100.0	100.0	0.0	0.0

※ 各組入投資信託の正式名称は4枚目以降をご覧ください。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	+119
外国株式	+97
国内債券	+2
外国債券	+7
為替	-7
分配金	0
その他	-4
合計	+213

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信/内外/資産複合/インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「国内株式マザー：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」の情報を記載しています。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	98.0	+0.5
先物等	2.0	-0.7
現金等	0.0	+0.2
合計	100.0	0.0

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2021/05/31	1.2	1.2
3か月	2021/03/31	-0.3	-0.3
6か月	2020/12/30	8.9	8.9
1年	2020/06/30	27.4	27.3
3年	2018/06/29	20.8	20.5
設定来	2005/09/30	87.4	86.1

※ ベンチマークは、TOPIX（配当込み）です。

組入上位10業種（%）

	当月末	前月比
1 電気機器	17.8	+0.5
2 情報・通信業	8.6	-0.2
3 輸送用機器	7.7	+0.3
4 化学	7.2	+0.0
5 サービス業	5.6	+0.1
6 機械	5.3	-0.2
7 医薬品	5.2	+0.2
8 銀行業	4.8	-0.2
9 卸売業	4.7	+0.0
10 小売業	4.5	+0.1

※ 業種は東証業種分類です。

組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 1,652）

銘柄	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.6
2 ソニーグループ	電気機器	2.5
3 ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.2
4 キーエンス	電気機器	2.0
5 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.5
6 リクルートホールディングス	サービス業	1.4
7 任天堂	その他製品	1.4
8 信越化学工業	化学	1.2
9 日本電信電話	情報・通信業	1.2
10 日本電産	電気機器	1.1

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「国内株式マザー：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

株式市場では、TOPIX（配当込み）の月間騰落率は1.19%の上昇となりました。

上旬は、国内でのワクチン接種進展による経済活動正常化期待から上昇しました。

中旬は、FOMC（米連邦公開市場委員会）において利上げ見通しの前倒しなどタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な内容となったことからリスク回避姿勢が強まり、下落しました。

下旬は、注目されたパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の議会証言を無事通過したことや、バイデン米大統領が1兆ドル規模のインフラ投資法案について超党派議員との合意を表明したことなどを好感した米国株の上昇はあったものの、首都圏での変異ウイルスによる感染再拡大が嫌気され、横這いで推移しました。

業種別では、海運業、鉱業、ゴム製品などが市場をアウトパフォームした一方、鉄鋼、証券、商品先物取引業、非鉄金属などがアンダーパフォームしました。

<市場見通し>

世界景気については、主要国における大規模な金融緩和と巨額の財政出動による景気下支えが続く中、ワクチン普及による経済正常化が加わり、回復基調が続いています。

株式市場は、業績の回復テンポや上振れ余地を見極めようとする見方から、もみ合う展開を想定します。もみ合いを経て、今後始まる四半期決算発表を踏まえ、業績の回復持続性や会社計画の上振れを織り込む形で上昇局面に入ると予想します。ワクチン接種の進展による内需回復期待も支援材料と考えます。

リスクについては、変異ウイルスの感染拡大、米国のインフレ動向や金融財政政策、米中対立、商品市況などに留意する必要があると考えます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「外国株式マザー：外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
株式	99.2	+1.3
先物等	0.8	-1.3
現金等	-0.0	+0.0
合計	100.0	0.0

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2021/05/31	2.5	2.5
3か月	2021/03/31	8.9	9.0
6か月	2020/12/30	22.7	22.8
1年	2020/06/30	46.3	46.7
3年	2018/06/29	57.5	58.5
設定来	2005/09/30	276.1	285.8

※ ベンチマークは、MSCI コクサインデックス（配当込み、円換算ベース）です。

組入上位5カ国・地域（％）

	当月末	前月比
1 アメリカ	69.0	+1.6
2 イギリス	4.3	-0.1
3 カナダ	3.6	-0.0
4 フランス	3.4	-0.0
5 スイス	3.3	+0.1

組入上位5通貨（％）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	71.7	+1.7
2 ユーロ	10.5	-0.1
3 イギリスポンド	4.5	-0.1
4 カナダドル	3.5	-0.0
5 スイスフラン	3.1	+0.1

組入上位5業種（％）

	当月末	前月比
1 ソフトウェア・サービス	12.2	+0.9
2 医薬品・バイオテクノロジー	7.5	+0.3
3 メディア・娯楽	7.4	+0.2
4 資本財	6.4	-0.2
5 銀行	6.1	-0.4

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 1,295）

銘柄	国・地域	業種	比率
1 アップル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	4.2
2 マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6
3 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	小売	2.7
4 フェイスブック	アメリカ	メディア・娯楽	1.6
5 アルファベット クラスC	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
6 アルファベット クラスA	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
7 テスラ	アメリカ	自動車・自動車部品	1.0
8 エヌビディア	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.9
9 JPMorgan・チェース	アメリカ	銀行	0.9
10 ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.8

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「外国株式マザー：外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

6月の米国市場は総じて上昇しました。上旬は、インフレ率の上昇とテーパリング（量的緩和の段階的縮小）に対する警戒感がくすぶるなか、順調な景気回復への期待などから、株価は底堅く推移しました。中旬のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、2023年の利上げ再開が示唆されるなど、FRB（米連邦準備制度理事会）による超緩和策からの政策転換に対する不安が広がり、株式市場は大きく下落しました。しかし、パウエルFRB議長らの発言などから金融政策の変更を急がないとの見方が広がると、月末にかけて上昇しました。インフラ投資法案可決に向け前進したことや、FRBによる銀行の配当金および自社株買いの制限解除なども相場を下支えしました。欧州市場も上昇しました。米国の金融緩和策縮小に対する警戒感の高まりなどから大きく下落する局面もありましたが、ワクチン接種の進展に伴う経済回復に対する期待などから上昇しました。月中のECB（欧州中央銀行）理事会では、大規模な資産購入が継続されるなど、緩和的な姿勢が示されたことも相場をサポートしました。

（為替）当月末の米ドル/円は、前月末から円安の110円台半ば（先月109円台後半）、ユーロ/円は前月末から円高の131円台半ば（先月133円台後半）となりました。米ドル/円は、前半は一進一退の推移となりました。その後、FOMCでのタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な内容を受けて将来の利上げ観測が高まる中、米ドル高・円安となりました。ユーロ/円は、FOMC後の株価下落局面におけるリスク回避の動きや、ECB高官によるハト派（景気を重視する立場）的な発言を背景にユーロ安・円高となりました。

＜市場見通し＞

米国市場は緩やかな上昇基調を予想します。インフレ懸念および金融政策変更への警戒感はくすぶるものの、インフレ率の上昇は一時的なものであり、FRBも金融政策の変更は急がないとみています。経済活動の制限は解除が進み、景気動向は急回復局面から緩やかな回復へと移行しつつあります。株式市場は、景気や業績が急回復する動きを織り込みつつあり、今後は緩やかな景気回復見通しのもと、株価は緩やかな上昇基調が続くと予想します。但し、株価は高値圏での推移が続いており、上昇ペースは徐々に鈍化する見通しです。

欧州市場も、緩やかな上昇基調を予想します。ワクチン接種の広がりにより、経済活動制限措置は緩和方向に向かっています。外需への依存度が高いことから、米国や中国の景気回復が相場のサポート材料になると予想します。

（為替）米ドル/円は、ワクチンの普及や経済対策による米国景気の回復が米ドルの支援材料となりますが、米金利の上昇ペースも緩やかなものが想定されることから、米ドルの上昇も抑制される見通しです。ユーロ/米ドルは、中長期的には欧州復興基金による投資拡大への期待がユーロの支援材料となる見通しです。但し、当面は

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用


 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「外国株式マザー：外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

米国の金融緩和政策縮小が意識されることなどが米ドル買い材料となり、一進一退の推移となる見通しです。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

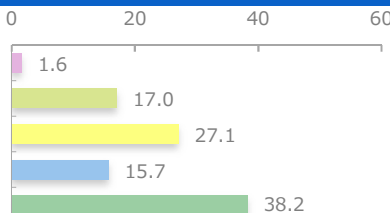
※ このページは「国内債券マザー：国内債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
債券	99.7	-0.2
先物等	0.0	0.0
現金等	0.3	+0.2
合計	100.0	0.0

残存構成比率（％）

	当月末	前月比
1年未満	1.6	+0.4
1-3年	17.0	+0.6
3-7年	27.1	-0.0
7-10年	15.7	-0.5
10年以上	38.2	-0.7



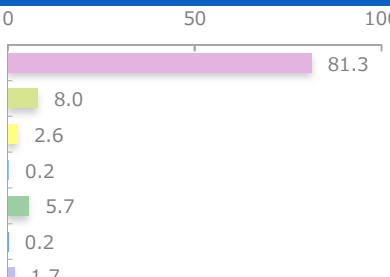
騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2021/05/31	0.1	0.1
3か月	2021/03/31	0.3	0.3
6か月	2020/12/30	-0.1	-0.1
1年	2020/06/30	0.1	0.1
3年	2018/06/29	1.2	1.1
設定来	2005/09/30	29.4	29.6

※ ベンチマークは、NOMURA-BPI（総合）です。

種別構成比率（％）

	当月末	前月比
国債	81.3	+0.2
地方債	8.0	-0.2
政府機関債	2.6	-0.1
金融債	0.2	-0.0
事業債	5.7	-0.0
円建外債	0.2	-0.0
その他債券	1.7	-0.1



ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン（％）	1.1	-0.0
残存年数（年）	10.3	-0.0
デュレーション（年）	9.4	-0.0
直接利回り（％）	1.0	-0.0
最終利回り（％）	0.1	-0.0

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数 409）

銘柄	クーポン（％）	残存年数（年）	比率（％）
1 第4 2 5回利付国債（2年）	0.005	1.9	1.6
2 第3 2 9回利付国債（10年）	0.800	2.0	1.5
3 第1 4 6回利付国債（5年）	0.100	4.5	1.3
4 第1 4 7回利付国債（5年）	0.005	4.7	1.3
5 第3 6 0回利付国債（10年）	0.100	9.2	1.2
6 第1 4 5回利付国債（5年）	0.100	4.2	1.0
7 第3 3 0回利付国債（10年）	0.800	2.2	1.0
8 第1 4 4回利付国債（5年）	0.100	4.0	0.9
9 第6 1回利付国債（20年）	1.000	1.7	0.9
10 第3 5 8回利付国債（10年）	0.100	8.7	0.8

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「国内債券マザー：国内債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

長期金利（10年国債利回り）は、前月末の+0.087%から+0.058%へ低下しました。

長期金利は上旬、インフレに注目が集まる米国でCPI（消費者物価指数）の発表前後にポジションの巻き戻しが入り金利が低下すると、国内長期金利も0.0%台前半まで低下しました。中旬に行われたFOMC（米連邦公開市場委員会）において、利上げ予想時期の前倒しが示されたことから米国金利が上昇すると、国内長期金利も0.0%台後半へ上昇しました。しかし、米国で利上げ前倒しがインフレ抑制につながるとの見方が広がり、米国金利の上昇が一服したことから、国内長期金利も月末にかけては0.0%台半ばでの横這い推移となりました。

<市場見通し>

国内景気はワクチン接種の進展や経済対策効果、外需の持ち直しにより、先行きは回復基調となる見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率はゼロ%近傍で推移後、年後半にはプラス幅が拡大する見込みですが、2%の物価安定目標の達成が見込める状況は想定していません。日銀は市場機能の回復のために長期金利の変動を促す一方で、長短金利操作目標を維持することで金利の過度な上昇は抑制する見通しです。長期金利は日銀が明確化した $0 \pm 0.25\%$ のレンジの中で、プラス圏での推移を想定します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「外国債券マザー：外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
債券	99.8	+0.3
先物等	0.0	0.0
現金等	0.2	-0.3
合計	100.0	0.0

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2021/05/31	-0.2	-0.1
3か月	2021/03/31	1.1	1.2
6か月	2020/12/30	2.3	2.3
1年	2020/06/30	4.1	4.1
3年	2018/06/29	14.0	14.2
設定来	2005/09/30	70.1	71.7

※ ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。

ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン（％）	2.3	-0.0
残存年数（年）	9.6	+0.0
デュレーション（年）	7.9	+0.0
直接利回り（％）	1.9	-0.0
最終利回り（％）	0.6	+0.0

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位5通貨（％）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	44.7	+0.7
2 ユーロ	40.5	-0.3
3 イギリスポンド	6.5	-0.0
4 オーストラリアドル	2.1	-0.1
5 カナダドル	2.0	-0.0

組入上位5カ国・地域（％）

	当月末	前月比
1 アメリカ	44.7	+0.7
2 フランス	10.0	-0.1
3 イタリア	9.6	+0.0
4 ドイツ	7.4	-0.0
5 イギリス	6.5	-0.0

組入上位10銘柄

（組入銘柄数 615）

銘柄	通貨	クーポン（％）	残存年数（年）	比率（％）
1 アメリカ国債	アメリカドル	1.625	4.9	0.8
2 アメリカ国債	アメリカドル	2.250	4.8	0.7
3 アメリカ国債	アメリカドル	1.125	9.6	0.6
4 アメリカ国債	アメリカドル	0.625	9.1	0.6
5 アメリカ国債	アメリカドル	0.125	2.1	0.5
6 アメリカ国債	アメリカドル	0.250	2.0	0.5
7 アメリカ国債	アメリカドル	0.125	2.6	0.5
8 アメリカ国債	アメリカドル	0.375	6.3	0.5
9 アメリカ国債	アメリカドル	0.625	8.9	0.5
10 アメリカ国債	アメリカドル	0.625	6.5	0.5

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「外国債券マザー：外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

（債券）当月末（現地6月29日）の米国長期金利（10年国債利回り）は1.47%と、前月末の1.59%から低下しました。ドイツ長期金利（10年国債利回り）は-0.17%と前月末の-0.18%から小幅上昇しました。米国では、上旬は雇用統計が事前予想を下回ったことから長期金利が低下しました。その後、FOMC（米連邦公開市場委員会）では利上げ見通しの前倒しなどタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な内容となったことから、短中期主導で金利が上昇しました。しかし、将来の利上げ観測が高まる一方で、インフレ期待が低下したことなどから長期金利の上昇は一時的となり、低下に転じる展開となりました。ユーロ圏では、上旬は米金利の低下に連動してドイツ金利が低下しました。その後、ECB（欧州中央銀行）理事会では現行の資産購入ペースの維持など金融緩和の継続が決定されましたが、概ね事前予想通りで市場の反応は限定的となりました。後半は、米金利が上昇した局面でドイツ金利も上昇した後、月末にかけてはもみ合い推移となりました。

（為替）当月末（6月30日）の米ドル/円は、前月末から円安の110円台半ば（先月109円台後半）、ユーロ/円は前月末から円高の131円台半ば（先月133円台後半）となりました。

米ドル/円は、前半は一進一退の推移となりました。その後、FOMCでのタカ派的な内容を受けて将来の利上げ観測が高まる中、米ドル高・円安となりました。ユーロ/円は、米FOMC後の株価下落局面におけるリスク回避の動きや、ECB高官によるハト派（景気を重視する立場）的な発言を背景にユーロ安・円高となりました。

<市場見通し>

（債券）米国では、ワクチン接種の進展や経済対策による景気の回復を背景に、金融緩和政策の縮小も意識されていく中で、長期金利は水準を切り上げていく見通しです。但し、金利の上昇要因に対する市場の織り込みも進んできていることから上昇ペースは緩やかなものとなる見通しです。

ユーロ圏でも、ワクチンの普及やEU（欧州連合）復興基金による景気の回復とともに、長期金利は水準を切り上げていく見通しです。引き続きECBによる資産購入策は需給面でのサポート要因となるため、金利の上昇ペースは緩やかなものになると想定しますが、一方で資産購入ペースの減速が意識されていくことは金利上昇圧力となっていく見通しです。

（為替）米ドル/円は、ワクチンの普及や経済対策による米国景気の回復が米ドルの支援材料となりますが、米金利の上昇ペースも緩やかなものが想定されることから、米ドルの上昇も抑制される見通しです。ユーロ/米ドルは、中長期的には欧州復興基金による投資拡大への期待がユーロの支援材料となる見通しです。但し、当面は

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用


 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

※ このページは「外国債券マザー：外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

米国の金融緩和政策縮小が意識されることなどが米ドル買い材料となり、一進一退の推移となる見通しです。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

ファンドの特色

- 内外の株式・公社債に投資する4つのマザーファンドの組入れを通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債に分散投資することにより、信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。
- 国内株式、国内債券、外国株式、外国債券および短期金融資産への実質的な基本資産配分は下記の通りとします。ただし、それぞれの資産の時価変動等に伴う各資産比率の変化については、一定の範囲（±3%）を設けて調整を行います。

[各ファンドの基本資産配分イメージ]

(マイパッケージ 30) (マイパッケージ 50) (マイパッケージ 70)

国内株式：	20%	35%	50%
外国株式：	10%	15%	20%
国内債券：	55%	35%	15%
外国債券：	10%	10%	10%
短期金融資産：	5%	5%	5%
基本株式組入比率：	30%	50%	70%

- 運用にあたっては、委託会社が独自に作成した合成指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。

[各ファンドのベンチマークの資産別合成比率]

(マイパッケージ 30) (マイパッケージ 50) (マイパッケージ 70)

TOPIX（東証株価指数、配当込み）	20%	35%	50%
NOMURA-BPI（総合）	55%	35%	15%
MSCIコクサインデックス（配当込み、円ベース）	10%	15%	20%
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	10%	10%	10%
有担保コール翌日物	5%	5%	5%

- 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないことを基本とします。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※各ファンドの略称として、以下のようにいうことがあります。

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）⇒（マイパッケージ 30）

三井住友・DC年金バランス50（標準型）⇒（マイパッケージ 50）

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）⇒（マイパッケージ 70）

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

投資リスク

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、委託会社が独自に作成した合成指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、以下の要因等により、合成指数の動きに連動しないことがあります。
 - ・有価証券売買時のコスト、信託報酬やその他のファンド運営にかかる費用を負担すること
 - ・追加設定・一部解約により組入有価証券の売買のタイミング差が生じること
 - ・インデックス構成銘柄と組入有価証券との誤差が影響すること
 - ・利用可能な指数先物とインデックスの動きに不一致が生じること
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2005年9月30日設定）

決算日

毎年2月18日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

● 課税上は株式投資信託として取り扱われます。

マイパッケージ 30：配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

マイパッケージ 50：配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

マイパッケージ 70：配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
ありません。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
各ファンドの純資産総額に以下の率を乗じた額です。
マイパッケージ 30 : 年0.242%（税抜き0.22%）
マイパッケージ 50 : 年0.253%（税抜き0.23%）
マイパッケージ 70 : 年0.264%（税抜き0.24%）
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○		○	○		
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○					
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○		○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		※1
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○		○	○		
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第8号	○					
十六 T T 証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第188号	○					※2
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		

備考欄について

※1：「ダイレクトコース」および「投信つみたてプラン」でのお取扱いとなります。※2：「三井住友・DC年金バランス50（標準型）」のみのお取扱いとなります。

ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- ベンチマークは、TOPIX（配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、有担保コール翌日物の日々の収益率を各ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しています。
TOPIXは、株式会社東京証券取引所が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。
NOMURA-BPI（総合）は、野村証券株式会社が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属します。
MSCIコクサイインデックスは、MSCI Inc.が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。
FTSE 世界国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCが公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
各ファンドをこれら発行者、許諾者が保証するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・DC年金バランス 30（債券重点型）/50（標準型）/70（株式重点型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成基準日：2021年06月30日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント